市民文芸

俳句

須田　真弓　選

割れざくろ星座のごとく長皿に　黒谷　榎本　久
草の実の虜になりて猫かへる　下吉田　江原　慶枝
秋の虹手を取り合うて園の庭　荒川贄川　小川　和子
青空に伸びし白煙秋高し　阿保町　吉田　泰子
機織が鳴く眠らうとする吾に　大野原　黒沢　一登
かなかなや月命日の妻は今　永田町　栗原　昌次
長き夜や古本出して妻偲ぶ　大野原　玉井　市憲
栗おこわ手作り味噌の汁添えて　荒川白久　濵仲　正
路地抜ける木犀の香に誘われ　中村町　髙野　恭幸
声高く茶のみ話や秋の空　上町　水野　紀子

・・・・・

帰り路皆を見守るオリオン座　高校三年　新井　秀磨
暗がりを照らし流るる天の川　高校三年　上林　大晟
山景の寂しさ思う散紅葉　高校三年　髙橋　大翔

(評)　榎本さんの句、ざくろの赤い実が星座のように並ぶ。「星座のように」が発見であり、詩情が生まれる。江原さん、草の実を体中に付けた猫を「虜になりて」と表現。猫への愛情の表れである。小川さん、秋の虹は儚いが、「手を取り合うて」がそれに応える。吉田さん、空へ伸びていく白煙により、秋の空の高さや澄む空気を詠む。黒沢さん、機織はキリギリスのこと。ギーッチョンという鳴き声に由来する。秩父にとって馴染み深い季語である。栗原さん、かなかなは蜩のことで、「妻は今」で終ることにより、余韻のある句となる。玉井さん、妻に縁のある古本を出し、長い秋の夜、思い出に浸る。濵仲さん、秋のこの上ないご馳走に舌鼓を打つ姿が浮かぶ。髙野さん、金木犀は花よりも先に香りに気がつくことが多い。路地を抜ける時、秋の深まりを感じる。水野さん、秋の澄み切った空気の中で楽しむ茶飲み話を秋の空が聞いている。

高校生が秋から冬への雄大な景色を詠んでくれました。

※次回1月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前（ふりがな）を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句　12月末締め切り→2月号に掲載します。
短歌　1月末締め切り→3月号に掲載します。

図書館だより

※図書館休館日は「くらしのカレンダー」をご覧ください。

秩父図書館の催しもの

●親子でたのしむ絵本とわらべうた（約20分）

と　き　12月21日㈬、令和５年１月11日㈬　午前11時開始
ところ　２階視聴覚室
終了後、午後１時まで「フリータイム」として会場を開放します。
対　象　０～３歳のお子さんとその保護者
12月21日㈬　わらべうた「こっちのたんぽ」　ほか
令和５年１月11日㈬　わらべうた「いもやのおじさん」　ほか
◎保健センターの４か月児健診で配布した「絵本の引換券」をお持ちの方は、「母子手帳」と一緒にお持ちください。

○わくわくえほんタイム（約30分）

と　き　令和５年１月７日㈯　午後２時開始
ところ　２階視聴覚室
対　象　幼児から小学生の児童
令和５年１月７日㈯　絵本「しんせつなともだち」　ほか

○おはなし会（約30分）

と　き　令和５年１月14日㈯　午後２時開始
ところ　２階視聴覚室
対　象　４歳以上の幼児から小学生の児童
令和５年１月14日㈯　おはなし「牛方とやまんば」日本の昔話　ほか

○ふゆのおはなし会（約40分）

おはなしやなぞなぞがたっぷり楽しめる、特別プログラムのおはなし会です。プレゼントもあります。
と　き　12月27日㈫　午後２時開始
ところ　秩父図書館
※○印のイベント参加者には、こどもどくしょポイントカードにスタンプを押します。なお、「セカンドブックスタート絵本の引換券」をお持ちの方は、イベント終了後に受け付けをしますので、引換券をお持ちください。

※プログラムは変更となる場合があります。

移動図書館車の巡回予定

●上吉田塚越　風間商店前　12月20日㈫　午後２時30分
◎天候等により、巡回できない場合があります。
◎利用カードがない方はその場で発行しますので、身分証明書をお持ちください。

※秩父図書館の最新情報はホームページをご覧ください。右のQRコードを読み取るとホームページにアクセスできます。